

県立やしろの森公園の自然共生サイトの認定について

- ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、民間の取組み等によって生物多様性の保全が図られている区域を環境省が認定する **自然共生サイトに、「県立やしろの森公園」が認定**されました。
- ふるさとの森公園として初めての認定となります。

兵庫県立やしろの森公園 について

県民の参画と協働により、森林の保全と創造を進めるとともに、地元住民と都市住民、世代間交流、親子・家族のふれあいの場を提供し、人と自然が共生する豊かな森づくりを推進する目的で設置された、「ふるさとの森公園」の第1号として、平成12年7月に開園。

55haの広大な里山を活かし自然観察や散策はもちろん、環境学習や里山体験などのプログラムが充実。

子どもから大人まで幅広い世代が自然とふれあうことができ、地域のボランティアと協力した保全活動も行われるなど、持続可能な自然との関わりを学ぶ場として地域に根付いている。



県立やしろの森公園（加東市上久米1081-3）

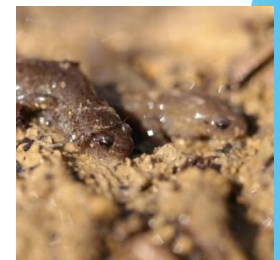
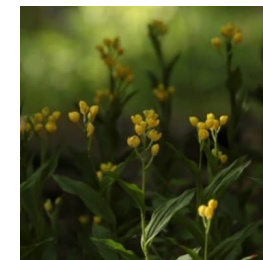
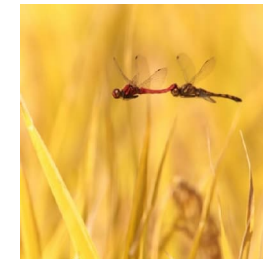
- ・ 指定管理者：やしろの森公園協会
- ・ 年間利用者数：約2万7千人（R6実績）

<自然共生サイト>

令和7年4月に施行された「生物多様性増進法」（以降：新法）に基づき「増進活動実施計画」又は「連携増進活動実施計画」を申請し、認定された区域。新法に基づく認定は、今回の令和7年第1回が初回であり、既にあった自然共生サイトの新法に基づく認定への移行を含め、全国で201か所、兵庫県では13か所が認定された。

「自然共生サイト」への申請にあたってのPRポイント

- 気軽に散策可能な公園でありながら、地域由来の里山環境や希少種を含めた動植物を身近に観察が可能
- ため池や湿原、森林など多彩な里山環境が広がり、生息する多様な動植物の保全と共存を実現
- 里山の魅力を発信しながら、自然保護の大切さを伝える活動を展開し、来園者とともに保全の輪を拡大
- 自然や里山文化に親しむことができる多彩な体験プログラムを展開
- 森林の間伐材を薪や炭として活用し、化石燃料のみに頼らない持続可能なエネルギー利用を実現



①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

① 営巣用巣箱で確認されたフクロウ、② 里山林上空を飛翔するサシバ、③ アラカシの自生環境の様子、④ アオゲラの子育て、⑤ 人の手が育むササユリの風景、⑥ ナツアカネの連結飛行、⑦ マルバオモダカが咲く溜池、⑧ キンランの群生、⑨ セトウチサンショウウオの繁殖期の水辺